

5月のほけんだより

社会福祉法人春献美会 いずみ保育園 令和5年5月号

新年度が始まり、あっという間に1か月が過ぎました。お子さんは、お家で変わった様子はないでしょうか。長いゴールデンウィークがありますが、お子さんの疲れが残らないよう計画を立て、楽しい休日をお過ごしください。春は、環境変化による疲れが出やすい時期です。お休みの間も生活リズムを崩さぬよう、リフレッシュしましょう！



朝ごはん
3つのスイッチ
ON!

からだ

体温が上がり、
活動しやすい状態になります。



脳

脳にエネルギーが充電され、
頭が働きやすくなります。

お腹

胃と腸が刺激され、
うんちが出やすくなります。

5月の保健目標

- ・園生活に慣れる
(情緒安定に気をつける)
- ・戸外で元気に遊ぶ



5月の保健行事

- 8日 (月) ピンテープ配布
 - 15日 (月) ピンテープ提出締め切り
 - 23日 (火) 乳児健診
- ※ピンテープは、ぎょう虫卵の検査です。

保健室からのお知らせ

* 保育園でのすり傷や切り傷の処置は、流水で洗い流し、絆創膏やガーゼを貼る応急処置です。お家ではがして傷の様子を確認してください。帰宅後、ケガの状況により受診となった場合は、お知らせください。

* 手足の爪は、衛生面と事故防止のため、短く切っておきましょう。

* コップや手拭きタオルは毎日持ち帰り、よく洗った清潔なものを持参してください。

* アタマジラミは季節を問わず集団発生することがあるため、保育園では毎月1回頭髪チェックを行っています。遊んでいる時など、頭と頭が接触するなどして寄生します。

お家で気になる点がありましたら、お知らせください。

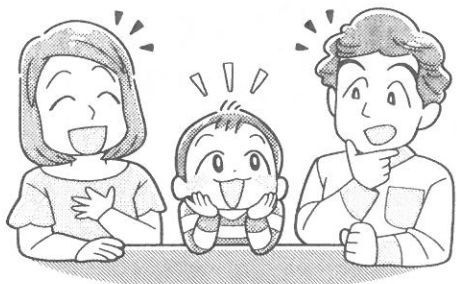


ほけんニュース

幼少期から育みたい言葉の使い方

幼児期は言葉で自分の気持ちを表現したり、人と言葉を伝え合ったりするなど、さまざまな体験を通して、言葉を豊かにする時期です。いろいろな言葉で、たくさん話しかけてください。

人とのかかわりの中で身につく言葉



子どもはおとなの言葉をまねしたり、遊びの中に取り込んだりして、言葉を使うようになります。言葉のやりとりを重ねることで、子どもたちは自分の気持ちを伝えようとします。そして、相手が言葉で答えることを通して、言葉の使い方を身につけていきます。子どもの言葉に耳を傾けて、言葉を返すことが大切です。



おはよう

あさの あいさつ

ありがとう

おれいの ことば

やめて

いやな ことを された とき

いただきます

たべる まえの あいさつ

だいじょうぶ?

おともだちが ころんだ とき

おやすみなさい

ねる まえの あいさつ

ごめんね

あやまる とき

いっしょに あそぼう

おともだちと あそびたい とき

「いいよ」も「いや」も子どもの大切な気持ち

幼児期の子どもが、おもちゃを貸してといわれて「いや」と断ることがあります。子どもは、いつも遊んでいるおもちゃを自分のものと感じるので、これは当たり前のことです。無理に「いいよっておうね」などというと、子どもは気持ちを認められなかったと感じることがあります。

まずは「まだ使っているんだね」などと受け入れる言葉をかけ、その後「仲よく遊ぶにはどうしたらいい?」と話してみましょう。

子どもは気持ちを受け入れてもらう経験を通じて、自分と他者の気持ちの違いに気づき、少しずつ歩み寄れるようになります。

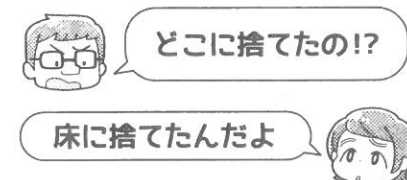


子どもに寄り添い、気持ちを動かす言葉かけ

転んで痛いと言っている時



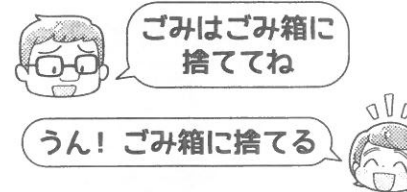
床にごみをばい捨てした時



受け入れる言葉に



具体的に指示する言葉に



痛かったのに否定されたと思う子もいます。受け入れる言葉をかけてみてください。

疑問形で叱ると伝わらないことも。してほしいことを指示してみてください。